

こんな時どうしたらいいの

身近な法律知識を研修

能生青色申告会女性部 秋の集い



司法書士
加藤賢太郎先生

最近、盛んに振り込め詐欺や多重債務などの事件が報道されています。また、契約は?相続は?と日頃難しく敬遠しがちな「法律をわかり易く、もっと身近に!」教えていただくとう12月2日(火)商工会和室を会場に開催されました。

講師の加藤賢太郎さんは、

大学卒業後建設会社を経て、一念発起し司法書士になられた方で「司法過疎地域をなくすことができれば」との思いで、新潟の事務所に2年間勤務後、故郷能生で開業されました。部員の加藤鮮魚店さんの長男さんでもあり、一般的に法律というハードルの高さにごの足を踏むところ、人柄にプラス知識で、やさしく解説していただきました。



熱心にメモする部員

新潟証券 武井邦夫副本部長講演

米国発金融危機と日本経済を研修

(社)糸魚川法人会能生支部

暮れも迫った12月16日、新潟証券(株)法人部副本部長の武井邦夫氏をお招きし開催いたしました。

硬いテーマではありましたが激変する経済情勢の中にあつて関心も高く、会員さんの約半数が参加するという熱気あふれる会場で始まりました。

以前は大手銀行の国際的分野で活躍されていた武井氏の海外経験に基づくグローバルな視点の独自資料と板書を交えた解説は非常に分かり易く、メモをとる参加者も多い熱心な聴講となりました。

過去数十年の世界情勢と株価の推移分析から今後の経済動向を推測されるなど、証券会社ならではの会話の中で、「もっと日本に自信を持つべき」という内容には参加者一同力づけられました。

新年を目前に、参加者の表情が明るく変わった研修会でした。



解説する武井邦夫副本部長



▲マリンドリーム能生をスタートする選手団



▲笹団子が好評(第2エイドステーション)

第4回 グランフォンド糸魚川

全国から**573名**が
エントリー
80km**291名**
120km**282名**

グランフォンド糸魚川実行委員会

糸魚川市と上越市名立地区にまたがる山海コースを走るサイクリングイベント「第4回グランフォンド糸魚川」が10月5日さわやかな秋晴れの下、能生小泊のマリンドリーム能生を発着点として開催されました。

コースは、広域農道、林道、一般道そして山あり、谷あり海岸線ありと大変起伏にとんだ全長120キロと80キロの2種類に分かれており、全国から573名のサイクリストが参加いたしました。

当日は、秋空の下、起伏にとんだ久比岐の山並みや海岸線そして途中のエイドステーションでの笹団子や飲み物の郷土料理を楽しみながら心地よい汗を流しました。